

慈眼寺

整備だより

第三号

平成十四年二月

慈眼寺整備委員会

委員長 大野 悟

あこあいさつ

整備委員長 大野悟

遅くなりましたが明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、檀家の皆様におかれましては、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、慈眼寺整備委員会に絶大なるご理解とご支援を賜わりまして誠に有難うございます。

昨年十一月二十八日には大勢の皆様のご参加を頂き盛大に上棟式を挙行することができました。その際、各業者のご協力により、お祝いの紅白餅をお配りしたところ、皆様に大

変喜んでいただきました。

また寄付金につきましても、昨年末までに多くの方々が振り込み予定を早められ大部分の方々に振込みを頂きましたこと、誠に有難うございました。

このたび「慈眼寺整備だより三号」を発行するにあたり建築の進捗状況をご案内させていただきます。

現在、この寒さのためシートで囲われて中がよく見えませんが、本堂の建築は順調に進んでおります。このたび、請負先の(有)田辺建設の社長のご好意により、桧の柱十一本を一層上等なものに替えていただき上棟式を迎えること

ができました。現在は本堂の前部の向拝といわれるところを手がけておりますが、左右に獅子と象の彫り物を取り付けられましたので、お参りの時などに覗いてみてください。近いうちに、屋根の瓦葺きと並行して内装工事を進め今年の七月には立派な本堂が完成する予定でございます。そして八月のお盆は新しい本堂でお参りをさせていただきます、お施餓鬼もできることになっております。ご期待ください。

なお、今年の大般若は例年どおり二月十一日ですが、仮本堂での挙行になりますので、手狭のため皆様にご迷惑をおかけすることになりそうですが、悪しからずご了承いただきたく思います。最後に、寒さ厳しき折、お

桧のにおいのする本格的な本造建築

社寺建築・一般建築・設計・施工

有限会社 田 辺 建 設

代表取締役 田辺 勉

本社 豊川市東名町2丁目21番地
TEL.0533-86-5475 FAX.0533-86-0316
三上工場
TEL.0533-83-1528 FAX.0533-83-1338

体にはくれぐれもお気をつけ頂きますようお願いいたします。

寄付勸進雑感

会計

伊藤久幸

檀家の皆様から、三つの金融機関に寄付されます浄財を、毎月、月初めに役員が集まり、入金進捗状況をチェックしております。氏名、金額、金融機関名、入金月日等のデータをコンピュータに入力して一覧表を作成しております。

檀家の戸主の氏名だけを聞いただけでは何処のどなたかわからず、先代、先々代の親父さんや、お爺さんの名前を聞いてはじめて、ああ、あそこの檀家かとわかることがしばしばありました。南部の「さん」は、郷中の「xxさん」方が本家であるとか、また、地区割りも、寺裏、中嶋、宮西等に区分されており、この呼び方も区画整理後には丁目が変わり、今はほとんど使用されなくなつて淋しい限りです。

振込み予定日より早め早めに入金していただき、また支払方法も、分割から一括に変更していただく方が多く、係としては大変助かっております。振り込まれた浄財は、各金融機関合計で、一億七七八七万円、約九割五分の振込みを頂きました(二月四日)。

檀家の皆様は、信仰心が篤く、先祖を敬い、おらが村の菩提寺慈眼寺を、早く立派なお寺に建替えようとする意気込みが、ひしひしと感じられます。

領収証は、檀家の皆様には送りませんので、金融機関で発行される「振込受取書」を大切に保管しておいて下さい。慈眼寺整備委員会発行の領収証が必要な方は会計までお知らせ下さいればお送りいたします。ここまで大過なく会計の務めをはたすことができま

したのも檀家の皆様方のご協力の賜物と感謝しております。

立派な慈眼寺の完成を心待ちにしております。

ご寄付のお願いに伺って

委員

大野和義

私は、四ツ谷地区の整備委員に選ばれました大野和義です。このたび、四ツ谷地区の四四戸を同じ委員の高見重徳さんと寄付集めに廻りまして、その時のエピソードを数件書かせていただきます。

一件目は、地区の役員などを歴任された高齢のAさん方での会話。

そうだよな、俺もそろそろ何とかしなきゃいかんと思つていた。この付近ではどこのお寺も立派になつて、古いままのお寺は下市場だけだわな。そうそう、神領

のお寺も建て直すそうだな。それと、下市場のお寺は山門だけ立派になつて、本堂の悪さがよけいに目立つわな。まあ建替えても良い頃だわな。ほんでも今回の整備委員は大変やなあ。なぜかという、昔はなあ、屋根替えのときもそうだったが、お寺のことは区会で寄付金の額を決めて、委員はただ集めるだけでよかつたからなあ。俺たちも幾ら寄付しようか迷つてるわな(Aさん)。

そうは言つても、今は下市場のお寺の檀家でない人も沢山いるから区会で決める事はできんよ(私たち)。そうか、そしたらxxさんは幾ら出すかね(Aさん)。私から、xxさんは何万円と言うことはできるので、xxさんと相談して下さいよ。それと、早い家ではす

でに寄付額が張出されてい
るので、お寺へ見に行つて
参考にしたらどうですか
(私たち)。

そうか、そんならお寺に
見に行つて決めるわ(Aさ
ん)。

二件目は、中年の女性B
さん方での会話。

私たちが、今回の経過を説
明いたしますと、

そうですよね。昔は廻り
の家も立派でなかったの
で目立たなかったが今は廻り
に立派な家が並んで、お寺
だけが目立ちますよね。私
も寄付金を沢山出したいけ
ど、もうすぐ区画整理で家
を移動しないかんから、ど
れだけ金がかかるかわから
ないので、沢山は寄付できん
けどいいかな(Bさん)。
今回の寄付は、さん
は幾らと、寄付額が決まっ
ているわけではありません。

無理して寄付されても、仏
さんは喜ばんと思えます。
無理しないで、一口でもい
いんじゃないですか(私た
ち)。

そんなら、主人と相談し
て決めますわ(Bさん)。

三件目は高齢な女性(C
さん)方での会話です。

経過説明のあと、
私たちも、もうすぐお寺
の世話にならないかんのでな
あ。寄付は沢山したいけど、

年寄り二人の年金生活では、
少ししか出せんけどいいか
な(Cさん)。
沢山寄付していただくの
はうれいなんですけど、生活
が困難になつてもらつては
我々も困りますので、無理
をしない範囲でお願いしま
す(私たち)。

そうじゃな。金がないと
三途の川も渡してもらえん
で極楽へ行けんわ。少しは

残さないかんわな。八八。
そんなら少ししかできんと
思うけど、何口にするか、
じいさんと相談して決める
わな(Cさん)。

このように、いろいろな
会話をしながら、各檀家を
廻りましたが、いやな思い
をした家は一軒もなく無事
寄付金を集める事ができま
した。本当にありがとうございました。

上棟式の写真紹介

昨年十一月二十八日、本
堂の上棟式が行われました。
思えば一昨年十月二十八日
に檀家総会が開かれ、以来
わずか一年でここまでこぎ
つけられるとは、本当に皆
様方のご協力の賜物と、委
員一同心より感謝しており
ます。

上棟式は、伊藤皓一副委
員長の司会により開式され、



続いて大野委員長、田辺建
設社長及び伊藤正副委員長
による浄道場の儀式のあと
住職の読経の中、参列者の
皆様に焼香と新本堂の参観
をしていただきました。松
の香りも豊かに組み上げら
れた最高級の柱の間を巡つ
て、やがて完成する本堂の
雰囲気を楽しんでもらいま
した。ここにあらためて上
棟式の写真を紹介します。
まずは上棟の瞬間です



紅白餅は十俵用意しました



委員長挨拶



住職の読経



浄道場



向拝部の象の彫り物



屋根の形ができました

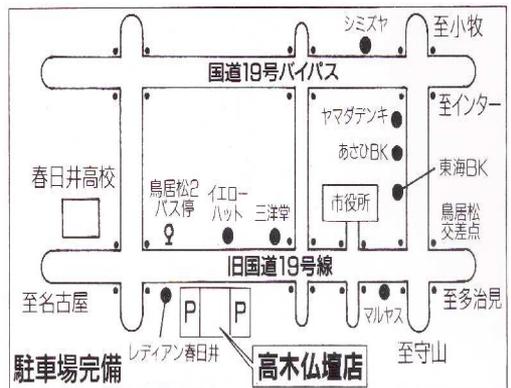
各宗仏壇・仏具・神具製造販売



高木仏壇店

春日井市鳥居松町3-96 (旧国道19号線沿い、いちよう並木通り)
営業時間/午前8時から午後8時まで 年中無休

☎ (0568) 81-5711





和尚敬白

住職

春日井浩道

遅ればせながら、明けましておめでとうございます。皆様方にはお元気で新年を迎えられたことと思います。昨年十一月に本堂の上棟式を終えて、年末には上の写真のようにになりました。一月末にもまだ瓦は載っておりませんが、ほとんどこの写真のとおりです。屋根の黒いのは防水シートで現在その下で軒回りや内部の工事が進められております。

日本堂との大きな違いは、まず屋根が瓦葺になったこと、正面部分に向拝といわれる屋根の張り出しが以前のこと、また位牌堂が以前の五倍くらいの広さになったことです。但し大きさと形式は変わっておりません。屋根の瓦は、本葺きといわ

れるものでとても重厚な様式です。ご期待ください。末尾になります。ご支援はじめ、整備事業に皆様方に心から感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

江南店・事務所/墓石ショールーム

期間中お越しただけでない方はお気軽にお電話下さい。
半年・一年先の予約も24時間受け付けております。

営業時間 AM9:30~PM5:30
定休日 毎週水曜日 遠近問わず送迎致します
土、日は休まず営業
祝祭日の場合営業致します。

ひじり
気持ちを形に
石材店 聖

春日井本店(営業所)
春日井市廻間町457-38
江南駅より徒歩7分
砂場西交差点角

江南市宮後町砂場西150
TEL 0587-56-2112

各務原より車で20分 一宮より車で20分
春日井より車で30分

墓石の販売、設計、施工、修理の石材店 聖へ
アリアケス 0800-200-2112
どうぞ!!

山号について

昔の寺院はたいてい山に作られました。そこで山の××寺というように呼ばれていました。比叡山延暦寺というふうです。この習慣が、寺院を平地に作るようになっても残り、山がなくても山号という呼称をつけられております。

慈眼寺の山号は「青柳山」と書きまして「せいりゅうざん」といっております。

旧本堂正面入り口の上に大きな扁額がかけられておりまして、もと曹洞宗管長で永平寺の貫首であった丹羽廉芳禅師の筆になる「青柳山」の文字がありました。なお、この扁額は名古屋市の伊藤鎌三氏の寄進によるもので、現在化粧なおし中で新本堂にも掲げられま

す（下の写真）。



大般若会の報告

今年も去る二月十一日恒例の大般若会が行われました。大般若会は仏の知恵の集大成である大般若経（全六百巻、三蔵法師玄奘訳）を転読し、人々の幸福を祈

る仏教伝統の儀式です。今年には仮本堂での執行でありましたので、梅花講の皆さんによる御詠歌も、法話もなく、転読法要のみのお勤めとなりました。

ご祈祷の済んだお礼は近日中に、檀方総代の方からそれぞれの担当地区に頒布されますので是非ご協力をお願いいたします。

編集後記

昨年の秋、大勢の檀家の皆様にご臨席をいただき、盛大に上棟式を終えました。新本堂は、その後工事も着々と進み、大屋根の形も出来上がり正月の空にその威容を見ることができるようになりました。

今回はその姿を見ていただきながら、新年の挨拶とともに、寄付勧進の様子を報告させていただきました。

本堂の大屋根を眺め上げるとき、勧進の記事にありましたように、本当に檀家の皆さん方一人一人のお寺に対する熱い思いとご協力のお陰であると改めて思いおこされます。本堂にご協力ありがとうございます。なお、皆様のご投稿を受けたいと思っております。詳しくは伊藤忍までお問合せ下さい（編集子）。

「慈眼寺整備だより」 第3号

発行日 平成14年2月12日

発行人 春日井市下市場町5-7

慈眼寺整備委員会

委員長 大野 悟

編集 庶務 伊藤 忍

連絡先 0568-81-6801